



「税理士、公認会計士である顧客がもつ守秘義務を伴うコンテンツを安心して取り扱う為には、セキュリティの信頼性がキーポイントでした。WebExは、その条件を満たしており豊富な実績もあった。」

—株式会社 MAP経営 常務取締役 三上 勝利 氏

WebEx Meeting Center で、中小企業の経営者の意思決定を、効率的にサポート



業界
税理士・会計士支援

WebEx アプリケーション
Meeting Center
Event Center

まとめ

支社会議を東京で行っていたが、移動時間の負担を軽減するため2006年6月にWebEx Meeting Centerを導入した。さらに顧客との利用場面を拡大しながら、新サービスを展開。今後も業務の拡大・充実をはかり、新サービスを展開する予定だ。

株式会社 MAP経営について

本社所在地
東京都中野区本町1-32-2 ハーモニー
タワー21F

業務内容
ソフトウェアの開発、経営コンサルタント

従業員数
52名

WebEx 導入：2006年6月

MAP経営は、会計事務所からスタートし、日本で初めて将来の損益・貸借・資金繰り・税金処理を完全に連動した経営シミュレーションソフトを開発した、経営計画の専門会社である。主に、未来会計ソフトウェアの開発・販売、経営計画関連の教育研修事業、中小企業経営者への意思決定支援業務を展開している。ユーザは全国の主要会計事務所、コンサルタント会社、地域金融機関や大手企業の経営企画部署等全国約1,200社。特に、会計事務所の関与先企業の先見経営・先行管理の仕組みを構築する「MA S監査業務」は業界の新たな基幹業務として定着化してきている。

The Challenge

MAP経営は、東京に本社があり、支社が名古屋、大阪、福岡の3拠点にある。社員が増えるにつれ、本社と支社間の情報格差が拡大していった。社長は支社で働く社員も含め全社員に自社の経営方針や社長としてのメッセージを毎月伝えたい。

さらに、本社・各支社・各部門の目標達成状況を公開し、各部門長への質疑応答を直接行えるよう、2005年1月からインターネット会議ができるソフトと専用機器を購入し、毎月第一月曜日に全社会議を開催していた。

The Solution

全社会議開催時、画面が途中で消えてしまうなどのトラブルが毎回のように発生した。適時メーカーからのフォローも無い状況が続き、他のサービスの導入を検討する。導入検討時には、ソフトをインストールせずに最新のサービスが利用できるオンデマンド型(SaaS、ASPタイプ)のサービスをインターネット上でピックアップし、それぞれのデモンストレーションを開始する。「インターネット会議はやはり高額な設備投資をしなければ無理なのではと、諦めかけていました。WebExのソフトを実際にトライアルしてみて、率直に驚きでした。こんなに安価で安定した会議ができるとは、さすがアメリカは進んでいると」(三上常務)

MAP経営では自社でのインターネット会議成功

の暁には、顧客である税理士や公認会計士にもこの仕組みを提供していこうというビジネス展開を考えていた。その為には、取り扱う内容が守秘義務厳守面からセキュリティの信頼性も重視した。WebExでのセッションコンテンツはSecure Socket Layer (SSL) を利用し暗号化され、コンテンツ内容はWebExのインフラ内に永続的に蓄積されないためデータ等へ侵入する可能性を減らしている。それに加えWebExの米国での実績、デモンストレーションにおいても画面の遷移にストレスがなかったことからWebExの導入を決定した。

WebEx自社導入と同時にユーザである会計事務所にもWeb MA S監査システムの提供を決定した。「WebExは大変な優れものですので、自社利用だけでももったいない。会計事務所の新たな付加価値サービスになると確信したんです。」と三上常務は言う。その後、WebExとの共同プロジェクトにより、会計事務所用の経営支援インターネット会議システムを構築した。

2006年4月から、本社・支社の計4拠点で顧客と社員同時にWebExの有効性を認識してもらう為のデモンストレーションを20数回行った。デモンストレーションでは単なるコスト削減ツールではなく、新規顧客拡大、オンライン税務相談・経営相談の適時コミュニケーションによるCSの向上、最先端技術採用による若手経営者獲得、事務所内スキルアップという戦略的活用が可能である点を訴えた。参加会計事務所からは「将来の会計業界の業務を大きく変える画期的なシステムだ」と高評価を得て、導入が相次いだ。

The Benefits

WebExではオンラインでドキュメントを共有し、コメントを添えることができる。この機能を利用すれば、ミーティング時の決定事項が反映されたドキュメントを各自印刷することが可能である。WebEx導入以前、社内のプロジェクトには東京本社の従業員しか参加できなかったが、導入後は

「WebExを活用することで、バージョンアップしたソフトを営業マンが東京へ来ることなく研修が行える。さらに録画機能を使えば、営業マンの仕事をストップせずにミーティング内容をそのまま聞くことができる。」

—株式会社MAP経営 常務取締役 三上 勝利 氏

支社の従業員も参画し、幅広い意見を結集できるようになった。支社をまたがる事業部別の会議はWebExでの会議が社内標準となっている。また、自社の開発ソフトのバージョンアップ内容を全営業マンに徹底する研修なども、WebExで行っている。さらに、Meeting Centerではミーティング内容を記録・再生・編集をすることが出来るため、急な営業活動でどうしても会議に参加できないメンバーは帰社後、ミーティングを再生し、ディスカッション内容を確認することで次回の会議に遅れを取る事が無くなった。

The Futures

MAP経営では、自社開発のアプリケーションソフトの活用事例研究会を年16回開催している。本年1月からはこの内容をEvent Centerで一斉放映を行い、1人でも多くのユーザ事務所のスタッフに見てもらい、中小企業経営者への支援に活かしてもらう為のサービスを開始した。また、MAS監査Webミーティングという新たなサービスをスタートする予定だ。これは、MAS監査業務の実践者を全国各地から募って、それぞれが抱えている具体的案件の課題解決と実践者どうしのスキルアップする為の実践研修を行う。近い将来、Event Centerを活用して会計事務所の顧客である中小企業経営者に経営計画の必要を直接認

識してもらうセミナーや計画経営の実践で課題解決した経営者実践事例セミナーなどを開催し、会計事務所の顧客拡大に後方から支援していくことも考えている。「これまで常識とされてきた要素を取り除き、これまで提供されてこなかったものをWebExで付加していけるものはないものかと、WebExを活用した様々なビジネスのアイデアが尽きないんですよ。まさに、ブルーオーシャン戦略の構築に有効なシステムでもある」と三上常務は語る。WebExを様々な場面で活用しているMAP経営は、今後もWebExのサービスを活用し、Webセミナーでの自社ユーザ拡大や金融機関との連携サービスなど、経営計画・MAS監査業務の普及と経営支援業務の更なる新サービスを展開するであろう。

HIGHLIGHTS

- 4拠点にある支社との定例会議にWebExを活用することで移動コストを削減。
- WebEx Meeting Centerでシステムのコール対応を行い、顧客とコンピュータ画面を共有することで問題解決のスピードアップを実現。
- 先輩社員の顧客とのプレゼンテーションを録画でき、自由な時間に再生ができるので、若手のコミュニケーションスキルアップに効果を発揮。
- 顧客へのサポートや新規顧客獲得、セミナーでの利用など、利用場面の拡大と充実を図り、新サービスを展開する予定。